

カデット大会に関する注意事項

1 競技上の注意

(1) 本大会は、現行の日本卓球ルール、宮城県中体連卓球競技規則及び競技上の注意を適用し実施します。なお、タイムアウト制は「ベスト16から」採用します。

(2) 今年度の日本卓球協会のゼッケンを着用して下さい。

(3) アドバイザーについて

ベスト16決定後の試合より、アドバイザーとして1名のベンチ入りを認めます。それ以前の段階では大会運営の都合上、アドバイザーは認めておりません。御理解の上、御協力願います。

※1 アドバイザーは登録不要です。

※2 試合途中でのベンチ入りや、ベンチへの出入りを容認します。

※3 試合途中でのアドバイザーの交替は認めません。

(4) 抗議について

選手本人にのみ認められています。

(5) 最初にサービス・エンドのジャンケン、ラケット交換を行い、練習を3本して、試合を開始してください。

(6) ラバー貼り替えが必要な時は、進行席まで来てください。

(7) 審判について

① 初戦のみ相互審判、それ以降は敗者審判となりますのでよろしくお願いします。

② 可能な限り2人で審判を行うようにお願いします。特に、シングルスの際に気をつけてください。

③ カウンターが進行席に見えるように審判を行ってください。

(8) カウンターの使い方について

どちらかが10点をとると、カウンターを90度傾けてそのままにするという審判法が見られます。こうすると、カウンターが見えなくなる人が出てくるばかりでなく、カウンターが障害物になることもありえますので、このようなカウンター操作は行わないで下さい。90度傾けても構いませんので、ラリーが始まる前には元の位置に戻してください。

2 進行上の注意

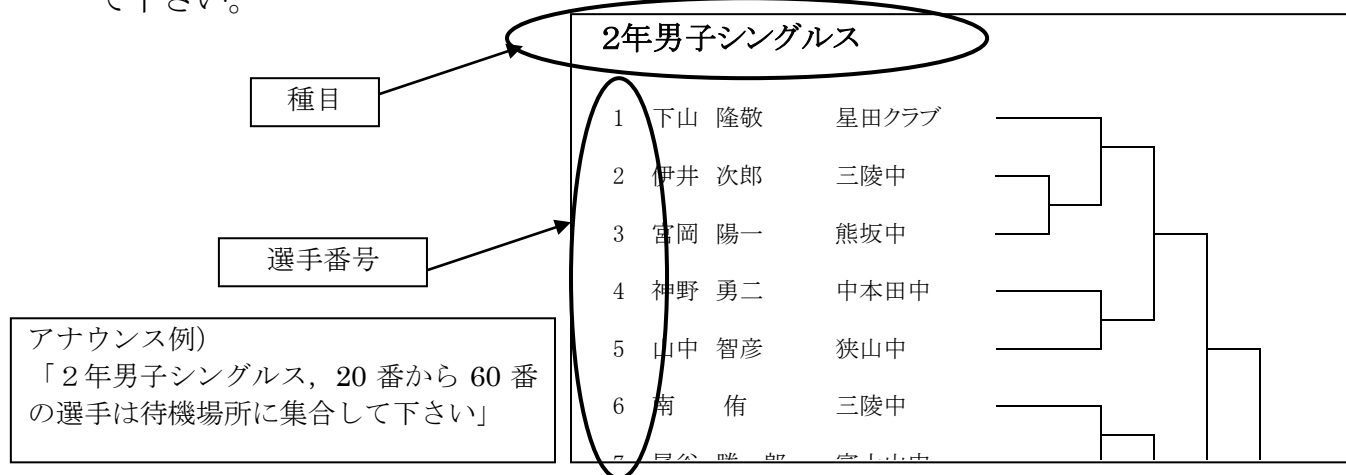
- (1) 本大会は開会式直後以外はタイムテーブルを使用しません。待機場所であらかじめ選手の確認を行い、試合コート割り当てます。詳しくは次のページの「3. 競技の進行について」を御覧下さい。
- (2) 待機所に集合するときには、すぐに試合を始められる姿(ユニフォーム, ゼッケン着用)で来て下さい。
- (3) 試合終了後、負けた選手は、すぐに結果記録表を進行席に提出し、次の試合の審判を務めてください。
- (4) 選手が試合に集中できるよう、フロアでの試合観戦・あいているコートでの練習は行わないでください。
- (5) フラッシュを使った写真撮影は、競技の妨げとなりますので、行わないように御協力ください。

3 競技の進行について

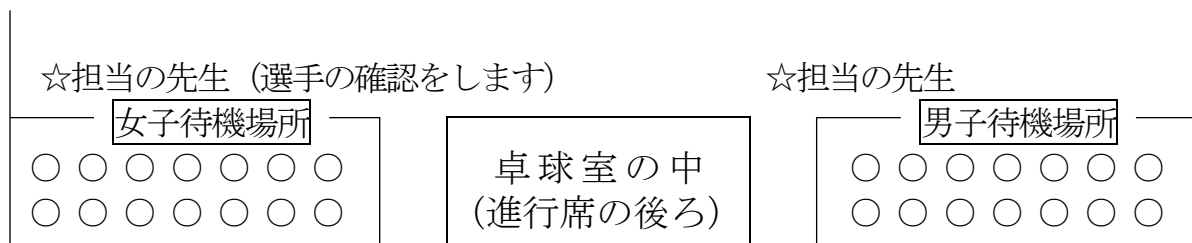
以下のことにつきまして、各校において事前にご指導をいただき、当日の進行がスムーズになるようご協力下さい。

(1) タイムテーブルは開会式直後の試合しかありません。

※ それぞれの試合をタイムテーブル化するのではなく、試合の近い選手を待機場所に集めておき、待機場所から順次試合を進めていく方式を採用します。召集のアナウンスは「種目」と「選手番号」で呼び出しますので、選手はそれらを暗記して下さい。



(2) 競技場フロアの一角に選手待機場所をもうけます。次の試合に出場する選手は待機場所で担当の先生のチェックを受けた上で、試合コートにはいることとなります。



待機場所で担当の先生から試合コートを指示されるので、静かに待っていること。

(3) 最初の試合のみ相互審判でおこない、その後は敗者審判となります。試合に負けた選手は自分の対戦カードを進行席に提出し、次の試合のカードを受け取って待機場所から次の試合を行う選手と一緒にコートへ行くこととなります。

以上を選手の動きとしてまとめると、次のページの通りになります。

【選手の動き】

- ① 観客席でアナウンスを聞く。(○ページから○ページの1回戦の選手)
↓
- ② 待機所に行き、競技役員の指示に従い、番号順にすわっている。
↓
- ③ 待機所の担当の先生から、試合をするように促される。
(○○中の○○君と○○中の○○君は試合ですよ、この審判の人について
いってください。)
↓
- ④ 審判と、相手の選手と一緒に、試合コートに行く。
↓
- ⑤ ジャンケンをして、練習を3本行い、試合開始。
↓
- ⑥ 試合の結果が出る。(勝ったら①へ) 負けたら、記録用紙を持ち、進行席へ。
↓
- ⑦ 記録用紙をはさむボードを持って、待機所に行き、担当の先生に渡す。
↓
- ⑧ 待機所の担当の先生から、試合の審判の指示を受ける。
(○○中の○○君と○○中の○○君の試合を審判します。○○コートに
いってください。)
↓
- ⑨ 試合をする選手と一緒に、試合コート(原則自分が試合をしたコート)に行く。
↓
- ⑩ ジャンケンをさせて、練習を3本行わせ、試合開始。(記録を忘れない)
↓
- ⑪ 試合の結果が出る。負けた選手に記録用紙を渡し、観客席へ。

複雑な説明でしたが、

「自分の種目と選手番号を覚えて、放送があったら待機所に集合する」
ということができれば、試合ができます。

4 会場に関して

- (1) 観客席やロビーなどをご利用下さい。役員が巡回しますので、指示にはしたがってくださいますようお願いいたします。熱中症対策のため、こまめに水分補給をしてください。床にこぼさないように十分に気を付けてお飲みください。
- (2) ゴミはすべて持ち帰りをお願いします。
- (3) 座席指定を行いませんので、お互いにゆずり合ってご使用下さい。
- (4) 観客席の通路での応援はご遠慮ください。座席に座って応援してください。
- (5) 万が一破損があった場合は、速やかに進行席まで連絡をお願いします。

5 全国大会出場枠・表彰

- (1) 全国大会の出場枠は以下の表の通りですが、シングルス4種目の中から表の人数以外にペンホルダー選手かカット主戦型の選手1名が全国大会に出場することができます。これを「ペンホルダー・カット枠」と呼び、以下に詳しく説明します。

種目	全国枠
1年男子シングルス	7人
2年男子シングルス	7人
1年女子シングルス	7人
2年女子シングルス	7人
男子ダブルス	6組
女子ダブルス	6組

←この他に「ペンホルダー・カット枠」として、もう1名が全国大会に出場できる。

- (2) ペンホルダー枠について
 - ・ 裏ソフトラバーまたは表ソフトラバーを主戦としたスタイルとし、フォアハンドつぶ高、アンチ主戦の選手は選考対象外とする。但し、つぶ高、アンチラバーを裏面に貼り、補助的ないし戦術的に利用する場合は問題ない。
 - ・ シングルス4種目の中で、最高成績を残した選手に全国カデット出場権を与える。(但し、ベスト16以上に進出した者とし、該当者がいない場合には枠を放棄する)
 - ・ 最高成績を残した選手が複数いた場合
 - A 同一性別のみの場合→直接試合を行って決める
 - B 男女種目にまたがる場合
 - 同姓同士で試合を行い、候補選手を男女各1名ずつに絞る。その2名のうち、平成30年度県総体個人戦でより上位の成績を収めた選手に全国カデット出場権を与える。それでも成績が同等であった場合は、抽選で決める。
- (3) 各種目ベスト8(5位)まで表彰します。
 - ・ 5位表彰 …… 5位の4人が敗者審判を終えた段階で表彰します。
 - ・ 1～3位表彰 …… 決勝戦後に表彰します。

6 当日朝の動きについて

- (1) 早く来すぎることの無いよう、開場ちょうどの到着を目指して御来場ください。生徒だけが体育館に集合していることの無いようにと体育館側から指導を受けておりますので、引率の先生が生徒よりも先に到着するようお願いいたします。
- (2) 7時30分から担当校が会場の準備を行うために体育館に入ります。それ以外の学校は8時に入場を開始しますのでお間違いの無いようお願いいたします。
- (3) 朝の練習時間は確保できない可能性が大きいです。あらかじめご了承ください。練習が行えるかどうかは、朝の会場準備が終わった段階で判断し、放送にて連絡します。

7 その他

- (1) 金品の紛失事件が起こっています。自己管理のほどくれぐれもよろしくお願い致します。盗難事件ゼロを目指したいと思っております。
- (2) あくまでも、小中学生を対象とした大会です。学校生活の延長線であることを意識づけたいものです。試合に臨む態度や応援のマナーなどご指導のほどよろしくお願い致します。「他の学校の生徒だから…」ではなく、見かけたらお声がけいただいでよろしいかと思っております。
- (3) 大会期間中、落し物は進行席にて保管します。
- (4) 大会終了後、忘れ物などに気づいた場合は体育館に問い合わせるのではなく、七ヶ浜町立向洋中学校 山下（電話：022-365-8151）までお問い合わせください。なお、大会後お問い合わせのない拾得物に関しては、年末まで保管をいたしますが、それ以降は処分させていただきますことをご了承下さい。